

令和8年度第1回茂原市地域公共交通会議 議事概要

日 時 令和8年6月23日（火）
午後2時から午後3時10分まで

場 所 茂原市役所5階 502会議室

出席者 委員 13名

深山委員、鶴野委員、成田委員、平見委員（代理：吉田氏）、鈴木祐一委員、鈴木政一委員、
白土委員、菅井委員、若林委員（代理：大上氏）、藤井委員、佐藤委員、大石委員、小高委員
事務局 7名

都市建設部 井上次長、都市計画課 野口課長、錦織補佐、金坂係長、小関副主査、深山主事、
長谷川主事

会議内容（進行：錦織補佐）

1 開会 午後2時

2 委員紹介

3 会長の選任

会長に茂原市副市長 大石委員が選任された。

4 会長あいさつ

5 副会長及び監事の選任

副会長に茂原市都市建設部長 小高委員、監事に茂原市社会福祉協議会理事 鈴木委員と茂原市福祉
部長 佐久間委員が指名された。

6 議事

（1）デマンド交通「ふれあい」・市民バス「モバス」の利用状況について（報告）

<質疑>

委 員：1点目に、4ページの「1運行あたりの利用人数」についてだが、以前、茂原市の場合は利用者が乗合を嫌う傾向があると伺った。それが1.21人と少し上がってきたということだが、これは家族等の知人同士が同乗したことによるものであるのか、それとも他人との乗合で生じたことによるものであるのかの実態を伺いたい。また、2点目に6ページの収支状況の収入額と7ページの収入内訳の合計額が合わないが、それはなぜか伺いたい。

事務局：1点目の乗合率の向上については、家族等の知人同士が同乗したことによる増加と考えている。
登録者が増えれば利用者も増え、他人との乗合による乗合率も向上すると考えているが、まだ

そこまでは至っていない。今後、エリア拡大も控えているので周知をしていきたい。

2点目については、6ページの収支状況には回数券の売り上げ等の収入金額を記載しているが、7ページの収入内訳は実際に使われた回数券の金額や現金で支払われた金額を記載している。そのため、必ずしも金額は一致するものではない。

委員：収支についてはわかった。乗合率については、他人同士の乗合が増えていないのではあればタクシーと変わらない。タクシー運用であれば、そのままタクシーを行った方が健全で、極端ではあるがタクシーチケットを配布するというやり方もある。まずは地域にデマンド交通とはタクシーではなく乗合が基本であるということ、だからこそ安価であるということを確認してもらう必要がある。本質的に乗合が生じるようなアプローチと乗合率の推移を見ていただきたい。単に乗合率の上昇だけを見てもデマンド交通の改善とは解釈されないので、ぜひ丁寧に取り組んでいただきたい。

（２）デマンド交通「ふれあい」・市民バス「モバス」の再編について

<質疑>

委員：「デマンド交通運行エリア外に居住する介助者の利用について」の利用条件⑧で、料金は半額の200円とあるが、介助者として同乗する方は200円で利用できるということか。

事務局：おっしゃるとおりである。以前から障害者手帳所持者とその介助者でそれぞれ200円かかるものであり、これをエリア外に居住する介助者にも適用するものである。

採決の結果、全会一致にて承認

（３）地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー系統及び地域間幹線系統）について

<質疑>

委員：地域間幹線系統の補助事業について、まず1点目に広域的に自治体間を結ぶ路線として茂原市と他自治体の調整で何か特記すべき点があれば伺いたい。2点目に茂原病院牛久線については、千葉県循環器病センターが一部負担しているようだが、どのように調整したのか、茂原市がどのように関わったのかを伺いたい。

事務局：1点目については、まず国の補助を受けるには路線の収支率が55%以上であることが条件となる。茂原長南線と茂原ロングウッド線はそれぞれ55%に達していないため、収支率が55%に達するよう自治体で負担している。茂原長南線については長南町と、茂原ロングウッド線については長柄町と、それぞれ乗降人数等の動向を見ながら、負担割合を決める協議を行っていく。乗降人数については、例年9月中旬頃に小湊鉄道が実施している乗降調査により判断していく。2点目の茂原病院牛久線については、牛久線と循環器病センター行きの便が統合されたものであるが、令和6年度に牛久線の利用者減少により維持が難しいということで、千葉県交通計画課に音頭を取っていただき協議してきたものである。もともと、循環器病センター行きの便については、赤字分全額を循環器病センターで負担していた経緯を踏まえ、負担割合については、まず赤字額の1割分を循環器病センターが負担することとし、残りの赤字額9割分については国や県の補助金制度を活用しつつ、茂原市、市原市、長南町が協定を結び、乗降者数や走行距離等により負担割合を決めている。

委員：了解した。病院の経営状況が厳しい場合は、自治体間で調整いただき、様々なケースを想定した取扱いについてご検討いただけるとありがたい。

採決の結果、全会一致にて承認

（４）その他

・茂原市地域公共交通計画の次期計画策定について（報告）

事務局：現在の茂原市地域公共交通計画が令和 6 年 4 月から令和 11 年 3 月末までの 5 年間となっているため、次期計画策定については、令和 9 年 4 月からの 1 年間で再編結果を踏まえたデータ分析を行い、令和 10 年 4 月からの 1 年間で計画を策定し、令和 11 年 4 月の計画期間開始を迎えたいと考えている。

そこで令和 9 年度のデータ分析業務及び令和 10 年度の計画策定業務については、民間事業者への業務委託を行う予定であり、それに向けた予算要求を行っていこうと考えている。予算措置ができた場合には、公募型プロポーザル方式による事業者選定を実施する予定であり、選定にあたっては茂原市地域公共交通会議委員の皆様から選定委員をお願いすることを検討しているので、その際は御協力をお願いしたい。

<質疑>

委員：次期計画策定にあたっては、データ分析の前に現計画の目標が達成されているか等の意見を委員に聞いていただき、その意見を踏まえてデータ分析を行っていただけると、より発展的な計画が策定できると思うので、是非ご検討いただければと思う。

7 その他

・路線バスの交通系 IC カード及び回数券について（委員より）

委員：茂原の路線バスでは、交通系 IC カードが使用できない路線がある。また、回数券も廃止された。過去には割引等もあった。それらをできれば使えるようご検討いただきたい。

委員：交通系 IC カードについては投資費用がだいぶかかる。また、回数券については、人件費や燃料費の高騰により廃止となった。今後の課題ではあるが、まだしばらくは難しいと考えている。

・デマンド交通「ふれあい」の周知について（委員より）

委員：以前、自分の所属団体でデマンド交通について話をしたことがあるが、意外と知らない人もいた。交通計画に掲げた目標達成のためにも、様々なところで周知していただきたい。

事務局：周知については、広報誌や自治会回覧等の紙媒体と併せて、市公式ウェブサイトや SNS での周知を行っていく。また、今回のエリア拡大に伴い、豊田・本納・豊岡の 3 地区で拡大前の事前の登録会を予定している。利用者拡大に努めていきたいと考えている。

・次回の会議開催時期について（事務局より）

事務局：次回の会議開催時期は 1 月頃を予定している。詳細が決まり次第、ご案内させていただく。

8 閉会 午後 3 時 10 分